

# Intersight接続用のACIデバイスコネクタの設定

## 内容

---

[概要](#)

[背景説明](#)

[接続の利点](#)

[クイックスタートビデオ](#)

[Nexus InsightsクラウドコネクタによるAPIC](#)

[Nexus Dashboard InsightsによるND](#)

[前提条件](#)

[APIC](#)

[Nexusダッシュボード](#)

[Intersight](#)

[デバイスコネクタの設定](#)

[APIC:NCCアプリケーションを使用](#)

[Nexusダッシュボード : Nexus Dashboard Insights\(NDI\)を使用](#)

[intersight.com内でデバイスを要求する](#)

[追加情報](#)

[Cisco Intersight](#)

[デバイスコネクタ](#)

[Nexus Insightsクラウドコネクタアプリケーション](#)

---

## 概要

このドキュメントでは、ACIファブリックのIntersight接続用のデバイスコネクタを有効にするために必要な手順について説明します。

## 背景説明

Intersight接続はデバイスコネクタで確立されます。ACIファブリックには、Intersight接続用に2つのデバイスコネクタオプションがあります。

デバイスコネクタの位置	インストール方法は？	注意事項
APIC	Nexus Insights Cloud Connector(NCC)アプリケーション	ACI 5. x以前は、このアプリケーションはNexus Insights - Baseと名付けられました。

Nexusダッシュボード	Nexus Dashboard Insights(NDI)	以前はNexus Insightsと名付けられていた
--------------	-------------------------------	----------------------------

## 接続の利点

Intersight接続には、次のような機能と利点があります。

- [Rapid Problem Resolution\(RPR\)](#)を介してオープンなSRに関する自動化されたTechSupportコレクション
- [TACアシスト](#)を介してIntersightにTechsupportsをアップロードする前
- 予防的ACIエンゲージメントによる障害テレメトリに基づく予防的ACI SRの作成

## クイックスタートビデオ

Nexus InsightsクラウドコネクタによるAPIC

Nexus Dashboard InsightsによるND


## 前提条件

### APIC

推奨される最小APICバージョン：4.2(3j)。

1. APICデバイスコネクタは、[svc.intersight.com](https://svc.intersight.com)を正しく解決できる必要があります。
  - APIC CLIを使用した検証：`nslookup svc.intersight.com`
2. APICデバイスコネクタは、HTTPポート443でのアウトバウンド通信を許可する必要があります。
  - APIC CLIによる検証：`curl https://svc.intersight.com`
3. プロキシが必要な場合は、APICシステム設定でプロキシを設定する必要があります。
  - System > System Settings > Proxy Policyの順に移動し、検証します。

---

 注:ACIリリース6.0(2)+では、新しいCisco Intersightプロキシサービスがスイッチノードに直接追加されます。この新しいプロキシサービスでは、すべてのスイッチノードにDNSをプログラムし、プロキシがCisco Intersightを解決してAsset Device Registration(Connected Device Sub Target)テレメトリを共有できるようにするには、管理VRFで[DNSサービスポリシー設定](#)を完了する必要があります。

---

### Nexusダッシュボード

推奨される最小NDバージョン：2.1.2

1. デバイスコネクタは、[svc.intersight.com](https://svc.intersight.com)を正しく解決できる必要があります。
  - ND CLIで`rescue-user:nslookup svc.intersight.com`として検証します。

2. デバイスコネクタは、HTTPSポート443での発信通信を許可する必要があります。
  - ND CLIでrescue-userとしてcurl <https://svc.intersight.com>を確認します。
3. プロキシが必要な場合は、クラスタプロキシ設定内でプロキシを設定する必要があります。
  - 検証は、Nexusダッシュボード>管理コンソール>インフラストラクチャ>クラスタ設定で行い、プロキシ設定を編集します。
4. NDに[ACIサイト](#)を[追加](#)する必要がある
  - Nexus Dashboard > Admin Console > Sitesの順に移動し、検証します。

## Intersight

1. デバイスを要求するには、Intersight.comアカウントが必要です。

## デバイスコネクタの設定

### APIC:NCCアプリケーションを使用

1. [Nexus Insights Cloud Connectorアプリの最新バージョン<sup>1</sup>をCisco DC App Centerからダウンロードします。](#)
2. Nexus Insights Cloud Connectorアプリケーションをアップグレードします。
  - Apps > Installed Appsの順に移動します。
  - NCCアプリケーションパネルでUpgradeボタンをクリックします。
  - 最新バージョンをアップロードします。
3. NCCデータ収集の設定を検証します。
  - NCCアプリを開きます。
  - 歯車アイコンをクリックして、アプリケーションのセットアップを再実行します。
  - データ収集セットアップの構成を編集します。
  - 収集するすべてのポッドにチェックマークを付けて送信します。
4. デバイスコネクタの設定を確認します。
  - System > System Settings > Intersightの順に移動します。
  - [設定]ボタンをクリックして、デバイスコネクタが有効になっていることを確認します。
  - アクセスマードと自動更新は変更できますが、通常は推奨されません。
  - Settingsを閉じて、Device Connectorページに戻ります。
  - デバイスIDとクレームコードを書き留めます。
5. [Intersight.com内でデバイスを要求する](#)
  - Intersightでは、ステップ4でメモしたデバイスIDとクレームコードが必要です。

<sup>1</sup>NCCバージョン2.2.8.6以降には、[log4jの修正が含まれています。](#)

## Nexusダッシュボード : Nexus Dashboard Insights(NDI)を使用

1. [Cisco DC App CenterからのNexus Dashboard Insights](#)の最新バージョン<sup>2</sup>を有効化/インストールします。
2. Nexus Dashboards Insightsで、すべてのファブリックノードが正しく表示/検出されている

かどうかを検証します。

- Nexus Dashboard > Admin Console > Servicesの順に移動します。 Nexus Dashboard Insightsを開き、ノードに移動します。
- 右側のペインをスクロールして、予想されるすべてのノードが検出されることを確認します。
- このビューに表示されていないノードは、Intersight関連のアクティビティおよび機能にアクセスできません。

### 3. デバイスコネクタの設定を検証します。

- Nexus Dashboard > Admin Console > Infrastructure > Intersightの順に移動します。
- [設定]ボタンをクリックして、デバイスコネクタが有効になっていることを確認します。
- アクセスモードと自動更新は変更できますが、通常は推奨されません。
- デバイスIDとクレームコードを書き留めます。

### 4. [intersight.com内でデバイスを要求する](#)

- Intersightでは、ステップ3でメモしたデバイスIDとクレームコードが必要です。

<sup>2</sup>NDIバージョン6.0.2以降には、[log4j修正](#)プログラムが含まれています。

## intersight.com内でデバイスを要求する

新しいターゲットを要求するには、次の操作を行います。

1. アカウント管理者、デバイス管理者、またはデバイス技術者権限でIntersightにログインします。
2. Service Selector drop-down リストから、Systemを選択します。
3. ADMIN > Targets > Claim a New Targetの順に移動します。
4. 「請求に使用可能」を選択し、請求するターゲット・タイプを選択します。Startをクリックします。
5. 必要な詳細情報を入力し、Claimをクリックしてクレーム申請プロセスを完了します。

## 追加情報

### Cisco Intersight

[Cisco Intersight](#) は、シスコとサードパーティの IT インフラストラクチャ向けの分析機能が組み込まれた SaaS 方式の管理プラットフォームです。Cisco Intersight では、従来のツールでは不可能だった高度かつインテリジェントな方法で、IT 組織の環境を分析、簡素化、自動化できます。詳細およびFAQについては、<https://intersight.com/help/home>を参照してください。

### デバイス コネクタ

APICに組み込まれたデバイスコネクタは、ACIファブリックをIntersightに接続するために使用されます。デバイスコネクタは、接続されたデバイスが情報を送信し、Cisco Intersightポータルが

ら制御命令を受信するための安全な方法を提供します。APICのリブート時に、デバイスコネクタがデフォルトで起動し、Intersightへの接続を試行します。

## Nexus Insightsクラウドコネクタアプリケーション

Cisco APICでは、TACアシスト機能を提供するためにNCCアプリケーションが使用されます。TACアシストは、複数のデバイスでテクニカルサポートを生成し、Intersight Cloudにアップロードする方法をユーザに提供します。TACエンジニアは、サービスリクエストを介して分析のためにこれらのテクニカルサポートを取得できます。さらに、TACエンジニアはACIノードに対してオンデマンドのテクニカルサポートをトリガーできます。『[Cisco Nexus Insights Cloud Connector User Guide](#)』を参照してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。